

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	母子・父子福祉センター 大阪市立愛光会館
施設所管課・担当	こども青少年局子育て支援部こども家庭課ひとり親等支援グループ
条例上の設置目的	母子家庭の母及び父子家庭の父並びに寡婦の経済的自立を助長し、その福祉を増進するとともに、その扶養する児童の健全な育成に資することを目的とする。
業務の概要	① 職業技術指導（大阪市ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業） ② 講演会、講習会その他教養講座の開催 ③ ひとり親家庭等に対する各種相談事業 ④ 会館の使用申請の受付・許可 ⑤ 会館及びひとり親家庭等支援制度に関する広報・啓発
成果指標	令和3年度からの指定管理者募集における法人提案から次のとおり年度協定において設定。 (1)ひとり親ニーズへの対応満足度（アンケートにより測定） (2)就業・自立支援に対する対応満足度（アンケートにより測定） (3)就業・自立支援において適切に対応できた割合（事業実績による自己測定）
数値目標	(1)～(3)においてそれぞれ90%以上を目標として設定。
指定管理者名	公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	(1)	(2)	(3)
数値目標	90%	90%	90%
年度実績	90.4%	95.0%	99.7%
達成率	100.4%	105.6%	110.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	9,765	7,021	2,744
稼働率	11.2%	9.1%	2.1%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	108,413,025	102,276,483	-4,053,975	
	計画	112,467,000	110,313,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	15,000	11,033	1,961	
	計画	13,039	45,000		
合計	実績	108,428,025	102,287,516	-4,052,014	
	計画	112,480,039	110,358,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	57,958,668	53,967,044	346,668	
	計画	57,612,000	56,313,000		
物件費	実績	50,454,357	48,309,439	-4,400,643	
	計画	54,855,000	54,000,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	60,000	42,888	-299	
	計画	60,299	45,000		
合計	実績	108,473,025	102,319,371	-4,054,274	
	計画	112,527,299	110,358,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
(1)	100.4%	B	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、各種事業に参加できた対象者からは感謝の声が多くあり、ニーズにマッチした事業展開が出来ていたと評価する。
(2)	105.6%	B	求人数の減少など就労支援の難易度が高い状況であったが、利用者からの満足度は高く適切に対応できていたと評価する。
(3)	110.8%	A	新たな指標として、各支援対象者個人に着目してその支援進捗度で測定した。結果として、各ステージに応じた支援が提供できていることは評価できる。

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
デマンドを確認しながら、電気使用量の抑制に努めるとともに、ペーパーレスに努めた。	A	急激な物価高騰の影響を受けながらも、依然として剰余金を市に戻入するなど効率的な施設運営に努め、適正な経費支出となっている。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	老朽化が進む施設であるが、早期及び予防の修繕対応により円滑に会館運営されている。
事業計画の実施状況	B	新型コロナ対策は昨年度から継続しているが、事業の実施可否について検討を重ね、可能な範囲で事業実施に取り組みひとり親支援事業を十分に実施することができた。
施設の有効利用	A	NPO法人が実施するひとり親向け食料品・日用品の配布会等について愛光会館を活用して実施した。
社会的責任・市の施策との整合性	A	新型コロナウイルスで困窮しているひとり親世帯に食材を配布する事業（お楽しみBOXお届けプロジェクト）を昨年度に引き続き実施するなど、施設の目的を十分に達成してくれた。

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>講習会受講者に対するアンケート等を通じて、講習会メニューの見直しを行うなど利用者ニーズの積極的な把握に努めていた。また、施設内に自動販売機を設置してほしいという要望について、検討の結果、令和3年7月より設置された。収益としては赤字事業となっているが、ニーズ充足のため継続されている。</p> <p>ひとり親家庭に対する食材等配付事業を市の連携パートナー（グッドネーバーズジャパン）と協働し実施された。</p> <p>また法人独自事業としても「お楽しみBOXお届けプロジェクト」を実施され、経済的に苦しい状況にあるひとり親の支援に積極的に取り組まれた。</p> <p>各種事業に対する利用者満足度は概ね高い状況にある。</p>

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・社会が新型コロナウイルス感染症にも慣れて、対面活動が活発になったと見受けられる。 ・電気代の高騰なども著しい中、事業経費の余剰を生み出された点は評価できるが、今後ますます社会活動が活発になるに際して、今後も削減可能な経費だったのか、無理はなかったのかの検証も必要である。 ・センター事業における個別支援の新たな指標の設定と、その効果が出ているというのは、とても良い取り組みかと思う。 ・実施事業に対するアンケート満足度が目標値を達成していることは評価できる。個々の評価を見ると、満足度が他に比べ若干低い事業もあるので、その分析を行い改善に努めてもらいたい。 ・利用状況について、コロナ前の水準まで戻っていることは評価できる。連携団体への貸し出しや新たに連携できる団体を見つけるていくなど積極的に取り組み、稼働率向上に努めてもらいたい。
--

令和4年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	施設機能を有効に活用し、指定管理者に期待される成果を十分に上げられている
市費の縮減	A	急激な物価高騰の中、剰余金を生み出した効率的な運営は高く評価できる
管理運営の履行状況	A	母子・父子福祉センターとして設置されている本施設の目的を十分に理解し、ひとり親家庭支援の拠点として有効に活用するとともに支援を要するひとり親のニーズに合致する事業を円滑に運営されている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	